

※ 今週のアウトルック(2/28~3/4)

先週はロシアのウクライナ侵攻に伴い、各通貨ペアともに大きく動きました。特に木曜日、金曜日は、ユーロを中心とした動きが活発化しました。ただ、金曜日終盤には底値を確認したかのように、大きく戻して終了しています。

今週もウクライナ情勢に左右されそうですが、週末の買戻しも一段落しているようにも感じます。

ウクライナ侵攻の早期終息、あるいは長引いてしまう可能性についての判断が今後の相場を大きく左右しそうです。

先週木曜日のドル円は、ウクライナへのロシア侵攻に合わせて一時114.4円付近まで下落しましたが、その後の戻りも早く木曜日のNY市場終了時には115.5円付近まで戻ってきています。

今週は、週末に優勢だった買戻しがどの程度まで進むのかをまず見極める必要があるように思います。

このところのレジスタンスラインの116.5円付近を超えてくるには、もう少し時間がかかるように思います。

ドル円の予想レンジは114.5円から116.5円です。

先週ユーロ円は、ロシアのウクライナ侵攻に合わせて128円付近まで下落しましたが、戻りも早く週末には130円台を回復してそのままNY市場を終了しています。

今週はまず、買戻しによるリバウンドがどの程度まで進むのかに注目が集まりそうです。131円付近に弱いレジスタンスができてきているようなので、このラインを超えられるかどうかで、今後の展開が大きく変わりそうです。

ユーロ円の予想レンジは129円から132円です。

ポンド円も木曜日には、153円付近まで下落しましたが、金曜日には買戻しが優勢となり、155円付近まで戻してそのまま週末を迎えています。ただ、戻りは他の通貨ペアと比べて鈍く、このまま157円付近まで戻すにはある程度時間が必要かもしれません。

ポンド円の予想レンジは154円から157円です。

金曜日にはNYダウが大きく反発し、原油先物が下落しました。既にウクライナ侵攻が終息に向かっているかのような動きですが、まだまだ楽観視は禁物のように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。